

P・I・A シート

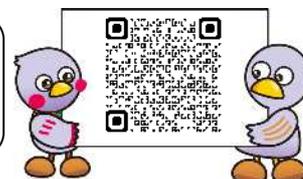
～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
小学校 総合的な学習の時間 編 ① 概要

| 校種・学年 | 小学校・6学年 | 教科等 | 総合的な学習の時間 |
|----------------|---|-----|-----------|
| 単元名 | 「〇〇小バラまつり」を開こう | | |
| 本単元におけるこれまでの取組 | <p><u>「バラマイスターをめざそう」（1学期）</u> 町花であるバラの栽培方法について、児童一人一人が課題を設定して探究活動を行ったり、バラマスターズ（バラ栽培管理の講習修了者）から栽培方法を助言いただきながら栽培したりすることを通して、バラについて関心をもち、植物を大切にすること、地域への愛着や参画意識を深めた。</p> <p><u>「〇〇小バラまつり」の開催（2学期）</u> 栽培したバラの開花時期に合わせて開催した。開催に向け4つのプロジェクトチームが会場運営やCM作成等の役割を分担し、保護者や地域の方、他学年にバラの魅力を伝える活動を行った。</p> | | |
| 単元の目標 | <p>(1) バラまつりの開催を目指して自らの課題を見つけるとともに、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け解決する。 <知識及び技能></p> <p>(2) バラまつりの開催を通して体験したことや、開催のために必要な情報について調査したことを効果的にまとめたり、自分の考えを相手に伝えたりする。 <思考力、判断力、表現力等></p> <p>(3) 地域の発展についての理解を深めるとともに、まちの一員としての自分の役割について考え、学んだことを生かそうとする。 <学びに向かう力、人間性等></p> | | |
| 本時のねらい | 「〇〇小バラまつり」で調査した結果を整理・分析し、来年の改善策について考え、分かりやすく表現する。 | | |
| 本時の評価規準 | 調査データを整理・分析し、来年実施に向けての改善策について考え、分かりやすく表現している。 【思考・判断・表現】 | | |

事例の概要(見どころ)

- ・単元全体の中の本時における活動の見直しをもたせるとともに、学習活動を振り返る時間を設定することで、児童同士で改善策を練り上げ、深める活動を重視しています。
- ・単元を通じ「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究のプロセスを繰り返すことで、児童一人一人が目的意識をもちながら活動しています。
- ・地域の人々との交流活動等、他者と協働して課題を解決する学習活動が展開されています。

発行：令和6年4月
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/g2201/gakkou/pia.html>



P・I・A シート

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
 小学校 総合的な学習の時間 編② 指導展開

- 目標 「バラまつり」で調査した結果を整理・分析し、来年の改善策について考え、分かりやすく表現する。
- 準備 タブレット端末・大型モニタ・プレゼンテーション資料
- 展開 (18/20)

| 学習活動 | ・指導上の留意点 ○評価（評価方法） | 準備 | 時間 |
|-----------------------------|---|--|----|
| 1 前時の学習活動を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「バラまつり」の調査結果を学級内で共有することで学習活動の見通しをもたせる。（来園数、売り上げ他） ・来場してくれた方、バラまつり運営に協力してくれた方の尽力や謝意を振り返る。 | グラフ（調査結果）  | 5 |
| 2 本時のねらいを確認し見通しをもつ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「バラまつり」実施の目的を再確認させるとともに本時の学習活動のねらいや見通しを確認させる。 | | |
| 「バラまつり」をふり返り、来年度へバトンをつなげよう。 | | | |
| 3 調査結果を分析する。（個人、ペア、班） | <ul style="list-style-type: none"> ・調査データを紹介し、分析する材料を共有する。 【調査データ】 アンケート結果、時間別来園数、滞在時間 売れ行き、ゲーム参加率等 ・分析に有効な視点を示し、自らの視点で分析させる。 【視点・指標】 ＊来園者の満足度（10～0ポイント） ＊来園した人数（10～0ポイント） ＊商品の用意（10～0ポイント） ＊商品の値段（10～0ポイント） ・データをもとに分析した内容を、根拠とともにアプリに入力させる。 ・他教科との連携を図り、調べ方についての知識や情報の整理・分析の仕方等について確認する。 ○調査データを整理・分析し、来年の改善策について考え、改善策を分かりやすく表現している。（アンケート作成管理アプリへの入力内容、発言） | ホワイトボードアプリ（調査結果） アンケート作成管理アプリ（入力用）  | 20 |

目的を明確にもたせることで主体的に調査を行っています。また、ICTの活用により、映像等収集した情報を蓄積しています。

前時に行ったまつり 当日の調査の様子

収集した情報を比較したり、分類したり、関連付けたり児童自身が情報を吟味する活動を通じて、児童自らが課題意識をもち活動できるようにしています。

各教科等で身に付けた資質・能力を生かすことで、探究的な学習活動を充実させることができています。

端末を活用し、一人一人が蓄積した探究的な学習の履歴を瞬時に交流、協働することで、集団においても深い学びが期待できています。

・調査結果から事象を捉え、考えを文章で表現できるよう、他の児童の考えを参考にしながら複数のグラフから分かることを比較・検討する場を設ける。

異なる意見を出し合い、比較・検討する場を設定することで、事象に対する認識が深まり、学習活動を更に探究的な学習に高め、主体的に取り組む学習活動へとつなげていくことを大切にしています。

§ 授業改善の視点（主体的な学び）§

単元全体の見通しやゴールのイメージをもつこと、考えや事象等を分類したり関連付けたりすること、文字言語を中心とした振り返りにより自己の変容を自覚し次に生かすこと等、探究のプロセスを一層重視することが大切です。

4 分析結果を共有し、改善策について検討する。

・調査結果をあらためて提示し、改善策について班ごとに比較・検討、発表する場を設け、全体で共有する。
 ・協働的な学び合いの促進を目指し、全員が活躍したり、一人一人の個性や違いを認め合ったりする場をつくり、肯定的な人間関係づくりの雰囲気を醸成し、協働的な学び合いの機会を意図的に設定する。

表計算アプリ

15



§ 授業改善の視点（深い学び）§

多様な情報を活用して協働的に学ぶために、体験を通じて得た情報を出し合い情報交換しながら考え話し合うことや、異なる視点から考え協働的に学ぶために、収集した情報を比較したり分類したり関連付けたりして考えていくことが大切です。

5 学習活動を振り返り、今後の活動を確認する。

・バラマスターズ（バラ栽培管理の講習修了者）からの講評の内容を伝えることで、自己の今までの活動を振り返り、今後の目標等について考えさせる。
 ・調査結果、来年度に向けた改善策を来年度（現5年生）に引き継ぐことを伝え、活動への意欲や方向性をもたせる。

5

探究的な学習を発展的に繰り返していく過程の中で、児童が主体的に学んでいくための課題設定と振り返りを大切にしています。

§ 授業改善の視点（対話的な学び）§

相互に考え、話し合い、学び合う活動や地域の人々との交流活動等、他者と協働して問題解決したりまとめたりする等の学習活動について振り返ることが大切です。その際、一人でじっくりと自己と対話する、友達と対話する、ICT機器等でつないで対話する等様々な姿の対話が考えられます。